

南房総市定例記者会見

日時 令和4年3月24日（木）

午前10時30分から

場所 市役所本庁舎 本館2階 第1会議室

【会見項目】

- 1 南房総市の移住・定住情報サイトがオープン
- 2 公共施設の利用手続きをオンライン化
- 3 南房総市地域商工業等経営活力創出支援金の継続実施
- 4 産業まつりフェアの開催結果について
- 5 5時間授業で子供たちと教職員にゆとりを

※プロモーション動画の視聴（移住・定住PR動画）

【その他】

4月の行事予定

【次回の記者会見日時】

日時 令和4年4月27日（水） 午前10時30分から

場所 市役所本庁舎 本館2階 第1会議室

南房総市総務部秘書広報課

TEL0470-33-1002・FAX0470-20-4591

定例記者会見 令和4年3月24日 開催

会見項目No. 1

南房総市の移住・定住情報サイトがオープン ～七色の自然に暮らす～

市では「第2次総合戦略」の重点課題である「子育て世代の増加」に向けた情報発信強化を目的として、市の新たな移住・定住に関する公式サイト「南房総市移住・定住情報サイト／七色の自然に暮らす」を開設しました。

本サイトは、若手職員の提案により今年度事業化した、「移住・定住プロモーション事業」により開設され、南房総市で暮らす子ども達の視点で制作したプロモーション動画の配信、移住者のインタビュー紹介、南房総市の移住ガイド情報として7地区の紹介、医療、学校及び各種支援制度などの情報を一元化しました。

市では今後、本サイトを活用して様々な移住関連情報や、南房総市の豊かな自然環境を強みとした暮らしや子育てなどの魅力を発信し、移住・定住の促進に向けた積極的なプロモーションを展開していきます。

【参考情報】

「南房総市移住・定住情報サイト／七色の自然に暮らす」

サイト URL: <https://www.minamibosocity-iju.jp/>



【お問い合わせ】

南房総市総務部企画財政課地域振興係 担当者：押元・稲葉
電話：0470-33-1001 FAX：0470-20-4598
e-mail アドレス：kikakuzaisei@city.minamiboso.lg.jp

定例記者会見 令和4年3月24日 開催

会見項目No.2

公共施設の利用手続きをオンライン化

～行政のデジタル化を推進へ～

市では、コミュニティセンター、公民館及び体育館など一般市民にご利用いただく公共施設（約50施設）の利用手続きについて、パソコンやスマートフォンからオンラインで手続きが完了する予約システムを導入します。

本事業は、市が推進する産官学連携事業の一環として、平成30年度から令和元年度にかけて実施した、千葉工業大学との「公共施設利活用アプリ・開発プロジェクト」の研究成果をもとに事業化し、今年度、本市の利用手続きに則したシステムを新たに開発・構築しました。

本システムでは、利用手続きが自宅のパソコンやスマートフォンで可能になるだけでなく、施設利用の際に利用者の手間になっていた窓口での鍵の受け取りが市内7か所に設置した外付けの無人キーボックスで行えるようになるため、これまでのように窓口の開庁時間内（8:30～17:15）にカギを取りに行かなくても施設を利用することが出来るようになります。なお、現在、予約システムとキーボックスの動作テストや運用に向けた準備を進めており、令和4年度中に順次段階的な運用を予定しています。また、パソコンやスマートフォンが利用できない方については、これまでどおり窓口での手続きも可能です。

市では、先般策定した「DX推進方針」に基づき、行政の非効率な事務コストを削減し、かつ市民サービスを向上させるための手段として、今後も行政手続きのデジタル化を推進していきます。更に、行政手続きのデジタル化は、ペーパーレスや移動に伴うエネルギーコストの削減にもつながることから、市が掲げる「ゼロカーボンシティ」の推進にも寄与するものと考えています。

【参考情報】 写真・・・とみうら元気倶楽部に設置したキーボックスでのテスト風景

【お問い合わせ】

南房総市市民生活部市民課市民協働グループ 担当者：小谷
電話：0470-33-1005 F A X：0470-33-3451
e-mail アドレス：shimin@city.minamiboso.lg.jp

とみうら元気倶楽部に設置したキーボックスでのテスト風景



定例記者会見 令和4年3月24日 開催

会見項目No.3

南房総市地域商工業等経営活力創出支援金を継続実施

～市内事業を継続して支援します～

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内中小企業の事業継続や円滑な経営軌道の回復、感染防止対策の徹底をきめ細かく支援するため、「南房総市地域商工業等経営活力創出支援金」を交付します。

今回は、今年度における第6弾目（令和2年度からの累計第10弾目）となる支援制度で、今年2月及び3月の売上状況を対象としており、申込受付期間は、4月1日（金）から5月31日（火）（必着）までとなっています。

1. 支援金の額

- ・最大で100万円

2. 主な要件

- ・中小企業者（中小企業基本法に基づく法人又は個人）であること
※社会福祉法人、医療法人、NPO法人を含む ※農業、林業、漁業を除く
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市内事業所における今年2月及び3月の2箇月間の売上げの合計が、平成31年2月及び3月の2箇月間における売上げの合計に比して20%以上減少していること
- ・対象期間における営業日数が過半であること
- ・市内に事業所を有する事業者であること
※市外に本社、本店等を有する事業者は、市内に事業所及び市内雇用者を有すること
- ・市税等の滞納がないこと
- ・現に事業を営み、今後も継続して同事業を継続する意思があることなど

3. 受付窓口 ※申請書類の提出は下記宛てに、原則郵送でお願いします。

- ・南房総市朝夷商工会 南房総市千倉町瀬戸 2294 電話：0470-44-1331
- ・南房総市内房商工会 南房総市富浦町原岡 918 電話：0470-33-2257

4. その他

- ・平成31年2月以降の新規創業者等には、特例があります。
- ・交付要件の詳細については、お問い合わせください。

【問い合わせ】

南房総市商工観光部 商工課 商工振興係 担当者：押元
電話：0470-33-1092 FAX：0470-20-4230 e-mail アドレス：shoko@city.minamiboso.lg.jp

定例記者会見 令和4年3月24日 開催

会見項目No.4

「南房総市産業まつりフェア」の開催結果について

～海産物、水産加工品、スイーツ、果物を中心に大好評～

南房総市産業まつり実行委員会では、令和4年1月28日（金）から3月14日（月）を対象期間として、南房総市産品のオンライン販売「南房総市産業まつりフェア」を開催しました。

本フェアは、南房総市産業まつり実行委員会（委員長：大川浩司）が運営し、サイト運営は㈱ちば南房総が担う形で実施され、45事業者、125商品が出品されました。結果として、793商品が販売され、2,774,844円の売り上げとなり、特に海産物、水産加工品、スイーツ、果物が売上げの大きなシェアを占めたほか、購入者は、県外の方が全体の8割から9割となっており、地域産品や産業まつりの知名度をPRする絶好の機会となりました。

【開催目的】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年に続き産業まつりの開催を見送った中、地域産品を市の内外の方々に安心安全な環境で販売し、ご賞味・お楽しみいただくとともに、厳しい経営状況が続く市内の事業者の販売機会の場を創出することが狙い。

【フェア内容】

楽天「南房総アンテナショップ」、「南房総いいもの市場」、「南房総MYトラベル」を活用し、販売商品は、生鮮品、加工品、飲食・体験メニューのカテゴリーに分け、幅広く展開した。

【実行委員長 大川浩司氏より】

「本フェアは初めての試みであったが、関係団体のみなさんの協力のもと、創意工夫を重ねながら実現することができた。結果として、コロナ禍で苦戦する地域の事業者の新たな販売の場を創出できただけでなく、地域の内外にわたって広く地域産品をPRでき、想像を超える多くの方々にご賞味、お楽しみいただくことができた。また産業まつりそのものを大きくPRすることができた事も大きな収穫の一つであり、来年度の産業まつりは例年どおりのリアルでの開催が出来る事を願うと同時に今まで以上の楽しい企画で皆様方をお迎えしたいと思っている。」

【問い合わせ】

南房総市 商工観光部 商工課 商工振興係 担当者：押元
電話：0470-33-1092 FAX：0470-20-4230
e-mail アドレス：shoko@city.minamiboso.lg.jp

定例記者会見 令和4年3月24日 開催

会見項目No.5

5時間授業で子供たちと教職員にゆとりを

南房総市の小中学校では、令和4年度から週2日ないし3日を、1日5時間授業とします。

現在(令和3年度)は、学習指導要領の改訂もあり、授業実施可能となっている週30コマ中、29コマないしは30コマの授業展開が常態となっており、放課後の時間がなく、子供たちにも教師にもゆとりのない学校生活となっています。

そこで、夏季休業を5日間短縮するとともに、これまでの教育活動を見直し、教育課程、日課表にゆとりを持たせることにより、様々な効果を期待しています。

- 1 昼休み、放課後の時間を確保し、子供たちに時間、仲間、空間の3つの間を共有する機会を設けることで、遊びの中で人間関係の深化、主体性の伸長、活動の多様化など小中学校におけるより良い成長を図る。
- 2 会議、研修の時間を無理なく確保し、日本型教育を支えてきた授業研究、校内研修、教材研究を行うことにより、教職員の力量の向上を図る。
- 3 これまで進めてきた学校再編により、多くなってきたスクールバス通学の子供たちの運動量の増加、体力の向上を図る。
- 4 中学校においては、空いた6コマ目を活用して英語検定やプログラミングなどの特設講座の開設により多様な学習機会の提供を図る。
- 5 教員の持ち時間数の削減の初めの1歩とする。

令和4年度から2年間の試行期間を経て、令和6年度から本格的実施とし、各学校の実情に応じて試行錯誤していきます。

【参考情報】

【問い合わせ】

南房総市 教育委員会事務局 子ども教育課 教育係 担当者：堀江俊介
電話：0470-46-2966 FAX：0470-46-4059
e-mail アドレス：kodomocity.minamiboso.lg.jp